

(様式1)

平成29年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 046	提案機関名 湘南家畜保健衛生所
要望問題名 過排卵処置実施牛における受精卵採卵後の飼養管理方法の確立	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 受精卵採卵のために過排卵処置を実施するが、採卵後の飼養管理は飼養者によってまちまちである。 過排卵処置により体に負荷をかけられた牛の飼養管理方法について試験・調査し、早く回復することにより次の採卵に向けた体作りを確立させる方法を確立させる。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	畜産技術センター	担当部所	企画指導部企画研究課
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合)		
対応の内容等	ご指摘のとおり、過排卵処置前に採卵成績向上のための飼養管理技術についてはいくつか報告がありますが、過排卵処置後の飼養管理方法について検討した報告は少ないのが現状です。当所では採卵試験で採卵を繰り返すため、採卵前に採血によりBUNやグルコース濃度などを測定して飼養管理を改善していますが、現状では採卵直後の測定はしていないので採卵による影響を把握できていません。すぐに試験課題を組んで検討することは難しいですが、採卵後に血液検査をすることや、他県や民間施設の情報を収集することで対応したいと思います。		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			